

# 大学1年生(2020年度)の 高校在籍時における 教科「情報」の 履修意識に関する調査

---

- 神戸親和女子大学 発達教育学部 松本 宗久
- 第14回全国高等学校情報教育研究会全国大会(大阪大会)2021/08/10

# 発表の概要

- 2020年度に大学に入学した学生約500名強に、高等学校3年間に、どの科目を、何年次に、何コマ履修したかなどを調査した。
- 教科書は、どの会社の何を使用したかが分かるようにアンケートを工夫
- 学習に際し、教科書・副教材は利用したか
- プログラミングは学んだか
- 今後に向けて

# 先行調査の概要

- 普通教科普通教科情報の科目別履修状況
  - 「社会と情報」が 80%
  - 「情報の科学」が 20%程度
- 情報科教員 昨年5月時点で全国に5072人
  - 公立高は全国に約3500校あり、1校あたり約1.4人（私立約1300）
  - このうち2割にあたる約1200人は、  
数学や理科の教員が例外的に指導する「免許外教科担任」や  
3年の期限がある「臨時免許状」を取得した教員
    - 『高校「情報」指導体制整わず 掛け持ちや免許外教員多く』  
日本経済新聞 2021年8月8日 1:00 [有料会員限定]
    - 『高等学校情報科担当教員に関する現状について』

# アンケート調査の概要

- 調査時期
  - 2020年4月に授業時間内に提示. 約一ヶ月の余裕
- 対象 大阪の私立大学 1校 1年のべ536名
  - 教育学部 192名
  - 保健医療学部リハビリテーション学科135名
  - 理工学部209名
- 方法
  - Google フォームを利用したWebアンケート
- 回答者の内訳
  - 大阪府がほぼ6割, 兵庫県が2割
  - 関西2府4県まで入れると95.5%

# ポイント どの教科書を使用したかまで調査

- 教科書の表紙画像を併せてアンケートに掲載

- 「画像優位性効果」を考慮して調査

- 覚えていないという回答は7%以下

- 履修科目の割合などは従来とほぼ同じ結果が出た

- おおざっぱに『社会と情報』が8割  
『情報の科学』が2割

下の教科書のうち、あなたが高等学校時代に持っていた記憶のあるものにチェックを入れましょう（複数回答可）\*

選択肢に、該当する表紙はないけれど、記載されている教科書会社、教科名を記憶している場合は、もっとも近いものを選択してください。そうでないときは、「その他」に内容を記述してください。



実教出版 社情311 最新社会と情報 新訂版



実教出版 社情312 高校社会と情報 新訂版



実教出版 社科307 最新情報の科学 新訂版



実教出版 情科308 情報の科学 新訂版

# 高校在籍時に履修した情報科の教科名

時間割に記載されていた科目名	人数
社会と情報	240
情報の科学	67
情報	196
（内、教科書が「社会と情報」）	(144)
（内、教科書が「情報の科学」）	(33)
（内、教科書が不明）	(19)

# 使用した教科書の会社名

会社名	社会と情報	情報の科学
実教出版	196	52
日本文教出版	86	15
数研出版	76	14
東京書籍	25	14
第一学習社	15	4
開隆堂出版	11	-
合計	<b>409</b>	<b>99</b>
(記憶なし)	35	-

# おまけ 上位3社の 教科書別 使用状況

項目	冊数
実教出版 社情311 最新社会と情報 新訂版	114
実教出版 社情312 高校社会と情報 新訂版	79
実教出版 情科307 最新情報の科学 新訂版	33
実教出版 情科308 情報の科学 新訂版	18
日本文教出版 社情306 社会と情報	7
日本文教出版 社情316 新・社会と情報	60
日本文教出版 社情317 新・見てわかる社会と情報	19
日本文教出版 情科305 情報の科学	4
日本文教出版 情科310 新・情報の科学	11
数研出版 社情305 高等学校 社会と情報	18
数研出版 社情314改訂版 高等学校 社会と情報	42
数研出版 社情315 社会と情報 Next	17
数研出版 情科304 高等学校 情報の科学	4
数研出版 情科309 改訂版 高等学校 情報の科学	10



# 受けた学年とコマ（＝単位）数

（1コマ45～50分として）

項目	人数
1年 週2コマ	164
2年 週2コマ	51
3年 週2コマ	34
1・2年 週1コマずつ	49
2・3年 週1コマずつ	7
1・3年 週1コマずつ	3
1年 週1コマ	149
2年 週1コマ	39
3年 週1コマ	19
授業を受けた記憶がない	5

# 教科書を授業で使用したか？

項目	人数
教科書のみを授業で使用した	220
教科書を授業で使用し，副読本も利用した	169
教科書も副読本も，授業で使用せず，教員の用意したプリントなどのみを利用した	<b>120</b>
教科書を授業で使用せず，副読本のみを利用した	<b>17</b>
授業を受けた記憶がない	5
合計	531

# プログラミングを学習したか？


項目	人数
Scratch	15
Visual Basic (Excel VBAを含む)	13
Javascript	6
C言語	2
言語を覚えていない	165
合計	201

# プログラミングを学習した科目

- 持っていた教科書
  - 『社会と情報』の教科書を144人(約75%)
  - 『情報の科学』の教科書を47人(約25%)
- プログラミングを学んだかどうかの割合
  - 『社会と情報』では約35%
  - 『情報の科学』では約47%
- 後者では本来、プログラミングを学ぶことが必修となっていることから、学生の記憶違いでないのであれば、きちんと授業で教えるべきだし、記憶違いであれば、内容の定着をはからないといけない。

# 自由記述欄より

- パワーポイント（及びそれを用いたプレゼンテーション）に関する事項 30名
- ワードプロや表計算ソフトなどOffice系の演習について 8名
- タイピングに関すること。（入カコンクールに参加した，授業の始めに必ず練習した）など。 16名
- 動画作成・写真編集などマルチメディア活用的な演習について 6名



# 終わりに

- 大学入学共通テストに「情報」が2025年から出題されることが正式に決定
  - 今までの課題が解決されるきっかけに？ → 大学の採択率次第？？
- 高校生全員が、必要な単位数「情報」を学んでいる状況になることが大切
  - 可能なら「情報II」を履修する生徒が増えていく様な状況づくり
  - 教育委員会、管理職などに理解をしてもらう事も必要ではないか
- 教員が、プログラミングを含め、「情報I」の内容を教える力を向上させる
  - 専任教員が増えて、安定した身分で学びを深めていける環境づくりも同時に
- 「情報」が、何故必要なのか、訴えていく
- 小・中・高・大と積み上げ可能なカリキュラム作り
  - 学校を移ると1から同じことをしていないか？（環境がバラバラな内は難しい？）